

新年度予算が成立

平成26年度の予算については、市の最上位計画、「つくばみらい市新基本計画」の大きな政策目標、「みらい」を担う子どもたちに誇れるまちに向けての実現のため、引き続き、事業の必要性、緊急性、重要性を見極めながら、真に市民のためになる事業の選択を行った上で、子どもたちに誇れるまちづくりを推進していく予算編成に努めました。

しかしながら、平成26年度の予算については、市長任期が今年の5月13日で満了することから、政策的経費を極力抑え、義務的経費を中心に、既に設定している債務負担行為や継続費の事業などを計上した、いわゆる骨格予算となっています。

一般会計の全体を見ると、総額は、195億1134万4千円で、前年度当初予算と比較し、20億2821万1千円の増で、11.6%の伸びとなっています。骨格予算でありながら、二桁の伸びとなっているのは、すでに工事を着工している（仮称）陽光台小学校と「みらい平コミュニティセンター」の建設工

事が本格化するためと、昨年度実施設計を行った、既存の中学校の空調設備設置工事を今年度を実施するためです。これらを含む教育費だけで、前年度当初予算より21億1400万2千円の増となっています。

さらには、今年4月から消費

行きたくなる、住みたくなるまちをつくらう

当市の産業活動の活性化や市民の雇用機会の創出のため、市内への進出企業などに対する固定資産税の特例措置が今年の3月31日で失効しました。この特例措置を平成31年3月31日まで、5年間延長します。併せて、この固定資産税特例措置に該当する企業に対して、交付する雇用促進奨励金も同様に平成31年3月31日まで5年間延長します。

今後も引き続き、企業誘致を

子どもも大人も高齢者もうれしい、誰もが便利に感じるまちをつくらう

子育て支援対策として、子ども子育て支援法に基づき、本市の幼児教育、保育および子育て支援の指針となる「子ども・子

育て支援計画」を今年度において策定します。また、子育て支援施設の充実として、現在、子育て世代の人







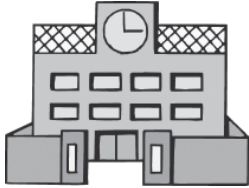

税が8%に引き上げられることに際し、低所得者や子育て世帯に対する適切な配慮を行う、いわゆる「簡素な給付」と言われる臨時的な給付措置を実施するため、民生費に2億3109万2千円を計上しました。

進め、当市の産業活動の活性化や市民の雇用機会の創出を図ります。

次に、市の特産品「みらいプレミアム」については、今年度、知名度向上と消費拡大を目指す。市内外の各種イベントで、積極的にPRを進めていきます。

また、新たな特産品の認証に向けて、商品の公募も実施していきます。

【市民一人の歳出額】
一人あたり 40万4665円
平成26年度の一般会計支出額を平成26年3月末現在の人口4万8216人で割ったおおよその金額です。

<p>農林水産業費 12,043円</p>  <p>農業振興などの費用</p>	<p>衛生費 19,667円</p>  <p>健康診断、ごみ処理、放射能対策などの費用</p>	<p>民生費 114,956円</p>  <p>福祉、子育て支援などの費用</p>	<p>総務費 31,987円</p>  <p>市役所管理などの費用</p>	<p>【市民一人の歳出額】 一人あたり 40万4665円 平成26年度の一般会計支出額を平成26年3月末現在の人口4万8216人で割ったおおよその金額です。</p>
<p>その他 5,744円</p>  <p>議会運営、商工振興などの費用</p>	<p>公債費 30,744円</p>  <p>借入金（市債）の返済金</p>	<p>教育費 113,014円</p>  <p>学校、公民館、図書館などの費用</p>	<p>消防費 17,899円</p>  <p>消防、防災などの費用</p>	